



「ゆめ・にっしん」は、平成18年2月創刊。「日々に新たに」ゆめある日新まちづくりの一翼を担い、地区文化の向上を願って今日に至っている。

発行：誇りと夢・まちづくり日新広報部会  
文京5-1-8 日新公民館  
発行日：2013年3月20日

日新  
苟日新 苟に日に新たに  
日日新 日々に新たに  
又日新 又日に新たなり  
出典 「大学」

# ゆめ にっしん

## 『日新かるた探訪マップ』完成！

## 《3月2日お披露目》



三世代合同交流会で初公開のマップ看板



何しろ初めての体験であることから、講師に景山直恵氏（地図デザイナー・花月4）を招き創作のノウハウを学ぶことから始めました。

まず、トリシングペーパーに地図の基礎となる道路・川の落とし込みで具体的作業の第一歩を踏み出しました。作業は、応募句全ての中から読み句の選定、現地確認・写真撮影等基礎データの収集作業が2ヶ月あまり。7月からは、いよいよ看板へ地図の貼り付け、写真のレイアウトを検討。さらに業者を交えた検討、協議を重ねてきました。

8月には、下版が届きました。想像以上の出来映えに、スタッフ全員から「すばらしい！」の連発、この感動を胸に2月中旬まで20数回の校正作業と打ち合わせを行い、特に最終チェックでは、間違いがないかに神経を集中させました。

いま、『日新かるた探訪マップ』看板を見て、製作者一同良くできたなあ、今年も後世に届けるものが出来たと満足しています。

地区の皆さん、是非見にお出かけ下さい。

いきいきライブセミナー 前川栄寛

「うおーっ すごい」。三世代合同交流会で『日新かるた探訪マップ』を披露したときの参加者の第一声。作成して良かったなあ感動を与えてくれた一瞬です。これは、いきいきライブセミナー（本年度の運営委員長 西川孝行氏）で3年前に作製した「日新かるた」がさらに親しまれ、地区を再発見してもらい地域の活性化につながようと、平成24年度の創作事業で取り組んだものです。

### 「日新かるた」紹介(1)

平成22年2月に作製された「日新かるた」。今回より代表的な句を紹介します。



か  
金仏堂の  
釈迦まつり



金仏堂は乾徳1丁目にあります。むかしこの地は大変さびしく、たちの悪い狐が人を化かし困っていたことから、お堂を建てたといわれています。

仏様はお菓子屋さんが一文銭を溶かして作りました。仏様は大変ご利益があるとして、今も地域の人により守られ、4月に釈迦まつりが行われています。

(日新かるた 解説書より) 文責 (友田)

### わがまち匠



左官職 (福井市技能功労者)  
山本正治郎さん (48) 日光1

山本さんは平成24年度の福井市技能功労者として表彰されました。山本家は代々続く左官業を営み、父賢治氏は平成19年に叙勲(旭日双光章)された職人一家です。

長身の山本さんはおだやかな話ぶりながら、「最近では新建材や新感覚の壁が人気ですが、自分たちはあくまで伝統の壁作りを守っています。」ときっぱり。また、業界では若手の育成が課題で、左官職人の年齢層は、60歳代が多く、40歳代になると極端に少なくなり、自身が講師を務める資格試験の受講者も年々少なくなっていることが残念だと話されました。

今年自治会の会計係として地区の活動にも参加しますと、張りきっておられました。(村上 浅川)



★名勝「養浩館庭園」の漆喰壁の修復作業を手掛ける等、県内でも有数の左官職人である。組合主催の講習会では技術講師を務め、技能士誕生に貢献している。土との交流を図るイベントの開催等、業界の活性化にも尽力している。(市政広報ふくいより)

### 日新春秋

禅僧の山田無文老師が説話集の中で、「毎日見ている太陽は同じように見えるが、毎日あれだけの熱量を発しているのだから、昨日の太陽と今日の太陽は違うはずだ。庭の草木も我々も毎日新しくなっている。」と述べています。思わず納得してしまいます。

これは、私たちの学校や地域の名前である「日新」の語義でもあります。しかし、私たちは、自分自身を含めた全てが、毎日変化していることに気づかず、今日は昨日と、明日は今日と同じように過ぎていくのだろうと思ってしまうことが少なくありません。

グラウンドの桜の木は、毎年きれいな桜の花を咲かせてくれていきます。今、離れたところからその蕾を眺めても変化を感じることはできません。しかし、今は春を目前に開花の準備で、堅い蕾の中ではきれいに咲かせるためのエネルギーをいっぱいに貯め込んでいることでしょうか。子ども達はその蕾に例えることが出来ます。将来、自分という花をよりきれいに咲かせるために、目立たなくても確実にそのための力を蓄えているのです。

私たち大人は、子ども達の日々の成長を感じ取れる人になりたいものです。また私たち自身の日々の成長も感じ取りたいものです。日新地区が日々に新たに、ますます発展されることを祈念しています。

福井市日新小学校

校長 齋藤常夫

★この三月で定年退職されることになりました。





**坪川家 文里**  
 3世代7人家族のにぎやかな我が家。  
 5歳の長女と3歳の次女はままとあそびが大好き！1歳の長男はやんちゃ盛りの食いしん坊！！元気いっぱいの子どもたちに囲まれて、助け合いながら毎日楽しく過ごしています。

**河越家 乾徳**  
 我が家は6人と犬（ジョン君）1匹のにぎやかな家族です。4月から小学1年生になる男の子がいて、今から小学校に行くのをとても楽しみにしています。  
 みなさん、どうぞよろしくお願ひします。



わがまち湊新6自治会

前自治会長 山田克則

現在45世帯からなる当自治会は乾徳地区の西端に位置し、東は福井銀行花月支店（乾徳4丁目）から、西は大滝病院（日光1丁目）までを区域に含みます。今回は自治会の区域内を、銀行前の湊新町バス停を出発点に、ぐるっと時計回りに歩いてみましょう。

松本通りの歩道を西方向にしばらく進むと北西方向に分岐する道があるのでここを曲がります。この道は昔の主要道（浦方街道）で、先は底喰川に架かる境橋を経て堀ノ宮方面に続いています。道に沿って芝原用水の支流の境用水が暗渠の中を流れています。右手は福井ケアセンター、左手は駐車場で、一帯は広場になっており、例年、神明神社の春祭りの際には子供神輿や大人神輿がここで休憩し、ケアセンターに入所中の高齢者の方々に子供たちが踊りを披露します。広場の一角には良寛さんの像が立っています。道を進むと北方向に分岐する道があるのでここを曲がり、少し進むと東方向に分岐する道があるのでまた曲がります。しばらく進むと、右手に4階建てのベージュ色の福井大学乾徳宿舎があります。ここには教職員の方々が16世帯入居されています。

宿舎の端の十字路を南方向に曲がります。すると左手に6体の地藏様が並んでいます。おとぎ話の「笠地蔵」のとおりに1体の地藏様は笠の代わりに手ぬぐいをかぶせてもらっています。昔習った話の内容と合っていることに安心して進んでいくと、やがて出発点近くの松本通りに戻ります。ここには押しボタン式の横断歩道があり、向こう側ではコンビニ（サンクス）や、蕎麦屋さん（丸仙）が空腹になった人々を迎え入れてくれます。



誇りと夢・わがまち創造事業

環境部会 ー生きもの観察会パネルー

日新公民館大会議室に「私たちは底喰川で生活しています」の額が飾ってあることをご存知ですか…。



環境部会で、昨年9月実施した生きもの観察会で確認した底喰川の生きものたちの写真です。（観察会の模様については、「ゆめ・にっしん」24号でお伝えしました。）観察会は、底喰川に多くの生きものがすめること、美化意識の高揚を図ることはもとより、子どもが自然に興味と関心を持ってもらうことをねらいとして実施しました。

当日は、子ども達の本当にいきいきとした目の輝きと楽しそうな動きに驚かされました。また、このような経験がいつまでも心に残るのではないかと感じました。

そこで、この感動をいつまでも「額」に使った写真をパウチして、スナップ写真、併せて、福井県自然保護センターから提供していただいた下敷き2枚をセットにして参加した子どもに渡しました。地区の次代を担う子ども達に期待しつつ……。 前川栄寛

底喰川 その12

ー底喰川清掃・クリーンアップ大作戦ー

ふれあいウォークを体験したから、源流を訪ねたから、或はまた館内学習をしたからって底喰川はきれいにはならない。

平成10年7月26日、初めての大清掃。当日は80余名の参加者であった。きたない臭う川の中に入っての活動であった。粗大ゴミが多く、またその多くが水面下の川底に埋もれていて何人かが力でもなかなか、という状況であった。このことは引き揚げられた、8畳ほどの大きさの絨毯とか、ドラム缶、アルミの窓枠、アルミの梯子、古タイヤ、自転車、ビニールパイプ等々が物語る。福井土木事務所援助の2トン積みレッカー車の威力は大でした。

いっぽう、ビニール袋に入ったポイ捨てごみは川底に積み、やがて袋は破れ悪臭を放つ。作業を終えて上がったときには、濡れた作業衣に悪臭が沁みこみ近寄れない程であった。（西）



2トン車もゴミでいっぱい クレーンで引き揚げ

文化部会 ー百人一首かるた会ー

2月23日、降りしきる雪のなか54名の参加があり盛況のうちに実施されました。今年は子どもと大人にグループ分けをして行ったところ、取得枚数がうまく割れて上々の結果になり思感通りになってよかったです。表彰式でたくさんの景品をもらったあと給すくいもあり、前日から仕込まれたおいしいカレーライスの昼食を食べて解散となりました。



成績（1位の人）

- ◆坊主めくり 坪川美智子さん 79枚
- ◆日新かるた 井上雄太さん 17枚
- ◆百人一首 土井七海さん 67枚

山崎 豊

交通部会 ーさんさんバス特集号 発行ー



バスの運行から4ヶ月。平日の乗車率は低く部会でもいろいろ検討を重ねているところですが、部会発足当初からの流れと関係者の思いを特集号にまとめ全戸に配布しました。

地域住民の高齢化や交通弱者に便利な交通手段として、一歩先取りした

形のさんさんバスが、是非とも地域に根づいて便利で住みよいまちづくりの一翼となるように、みなさまのご利用をお願いします。 牧田 孝